

2021年度 年度計画



地方独立行政法人
東京都立産業技術研究センター

理事長 奥村 次徳

目次

1. 第四期中期計画概要

2. 2021年度計画

2.1 組織

2.2 総合的支援（OM型開発支援、研究事業）

2.3 プロジェクト型支援

2.4 新事業展開支援

2.5 地域や支所の支援

2.6 産業人材育成

2.7 情報発信

2.8 業務運営改善

第四期中期計画 項目

1 総合的支援

〈総合力を発揮できる技術支援体制の確立〉

- (1)技術相談
- (2)依頼試験
- (3)機器利用
- (4)オーダーメイド型技術支援

〈支援業務を見据えた研究開発力の強化〉

- (5)基盤研究
- (6)共同研究
- (7)外部資金導入研究・調査
- (8)知的財産の取得と活用

2 プロジェクト型支援

〈社会のニーズに迅速に対処〉

- (1)新産業創出支援
- (2)社会的課題解決支援

3 新事業展開支援

〈外部機関との積極的な協業〉

- (1)オープンイノベーションの促進
- (2)資源やネットワークを活用した支援
- (3)海外展開の促進

4 地域や支所の支援

〈地域や産業に特化した支援〉

- (1)支所における支援
- (2)食品産業への支援

5 産業人材育成

〈現場で役立つ実践的な人材育成〉

- (1)中小企業の中核人材の育成
- (2)次世代を担う人材の育成

6 情報発信

〈利用拡大につながる広報活動〉

- ・情報発信のデジタル化

7 業務運営改善

〈社会状況に対応できる柔軟な組織運営〉

- (1)業務運営の効率化
- (2)ライフ・ワーク・バランスの推進
- (3)デジタルトランスフォーメーションの推進
- (4)内部統制の強化とコンプライアンスの推進

第四期の特徴

1. 総合的支援

総合力で製品化・事業化を支援

2. プロジェクト型支援

ニーズへの迅速な対応

3. 新事業展開支援

外部機関との協業

4. 地域や支所の支援

特色を活かした支援

5. 産業人材育成

実践力の育成

6. 情報発信

デジタル広報の推進

7. 業務運営改善

デジタル化・効率化の推進

第四期中期計画目標値

項目名	指標	目標値
技術相談	電子メール、ウェブ相談などデジタル媒体を活用した相談の実施率	最終年度 50%
依頼試験 機器利用	依頼試験と機器利用の合計利用件数	中期期間 累計130万件
OM型 技術支援	OM型技術支援を利用して製品化・事業化に至った件数	中期期間 累計120件
基盤研究	基盤研究から支援事業、共同研究、外部資金導入研究に発展した件数	中期期間 累計135件
共同研究	共同研究から製品化・事業化に至った件数	中期期間 累計70件
外部資金 導入研究	外部資金導入研究の採択件数	中期期間 累計140件
知的財産の活用	知的財産の実施許諾件数	中期期間 累計35件

第四期中期計画目標値

項目名	指標	目標値
海外展開	中小企業の海外展開に寄与した件数	中期期間 累計120件
情報発信	オンラインによる研究発表会等の実施率	最終年度 50%
情報発信	広報誌等の紙媒体のデジタル化率	最終年度 80%
職員育成	デジタルメディアによる研修実施率	最終年度 60%
業務改善	ペーパーレスで開催される都産技研内部の会議・委員会の比率	最終年度 80%

第四期中期計画

2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	2024(R6)	2025(R7)
----------	----------	----------	----------	----------

第四期中期計画の達成

★食品技術センターの統合

第五期中期計画の策定

★オーダーメイド型技術支援の開始

★城南支所リニューアル

★新業務システムの運用開始

★新総務・財務システムの運用開始

★城東支所リニューアル

デジタル化の推進

デジタル化の定着

研究開発戦略の策定・研究事業の実施

城南支所 機器整備（特定）

食品技術センター 機器整備（特定）

中小企業の5G・IoT・ロボット普及促進事業

航空機産業への参入支援事業

ものづくりベンチャー（後継事業の検討）

ヘルスケア産業支援（R3末事業見直し）

障害者スポーツ研究開発推進事業

プラ代替素材開発普及事業

都政課題解決

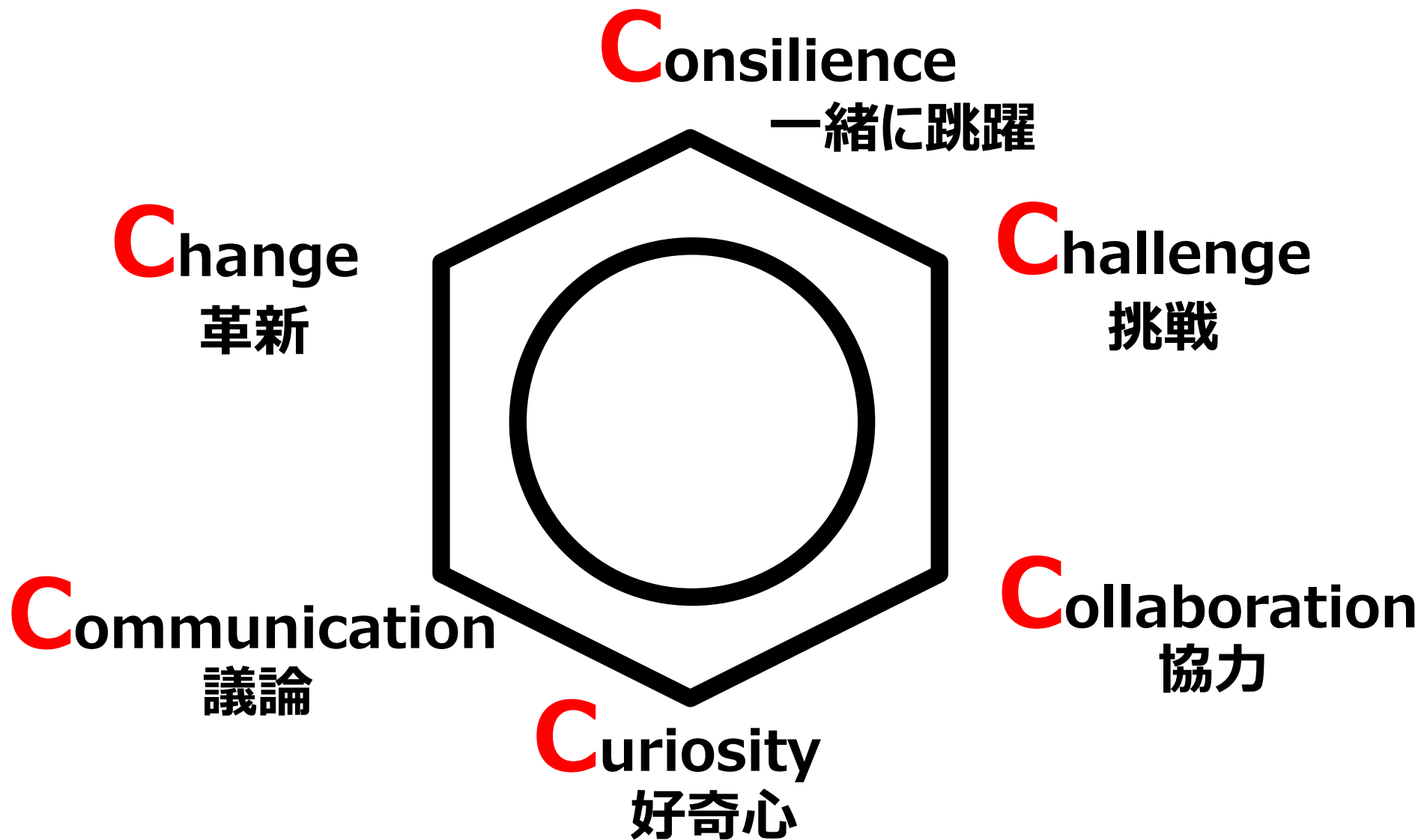
成果の展開・普及
新事業の提案・実施

特定運営費交付金事業

総合力で頼りになる都産技研へ

- 1) 中小企業のイノベーションを加速させる技術支援
- 2) 新技術・新製品に着実につながる研究開発
- 3) 変化に的確に対応できる機動的運営

職員の心構え（6つのC）



目次

1. 第四期中期計画概要

2. 2021年度計画

2.1 組織

2.2 総合的支援（OM型開発支援、研究事業）

2.3 プロジェクト型支援

2.4 新事業展開支援

2.5 地域や支所の支援

2.6 産業人材育成

2.7 情報発信

2.8 業務運営改善

2021年度組織

・デジタル化推進部の設置

デジタル化関連規程の整備、体制構築、所内への啓発

・間接部門の再編成

企画部（企画系）と技術経営支援部（事業系）を設置
所掌範囲の明確化

・情報システム技術部の設置

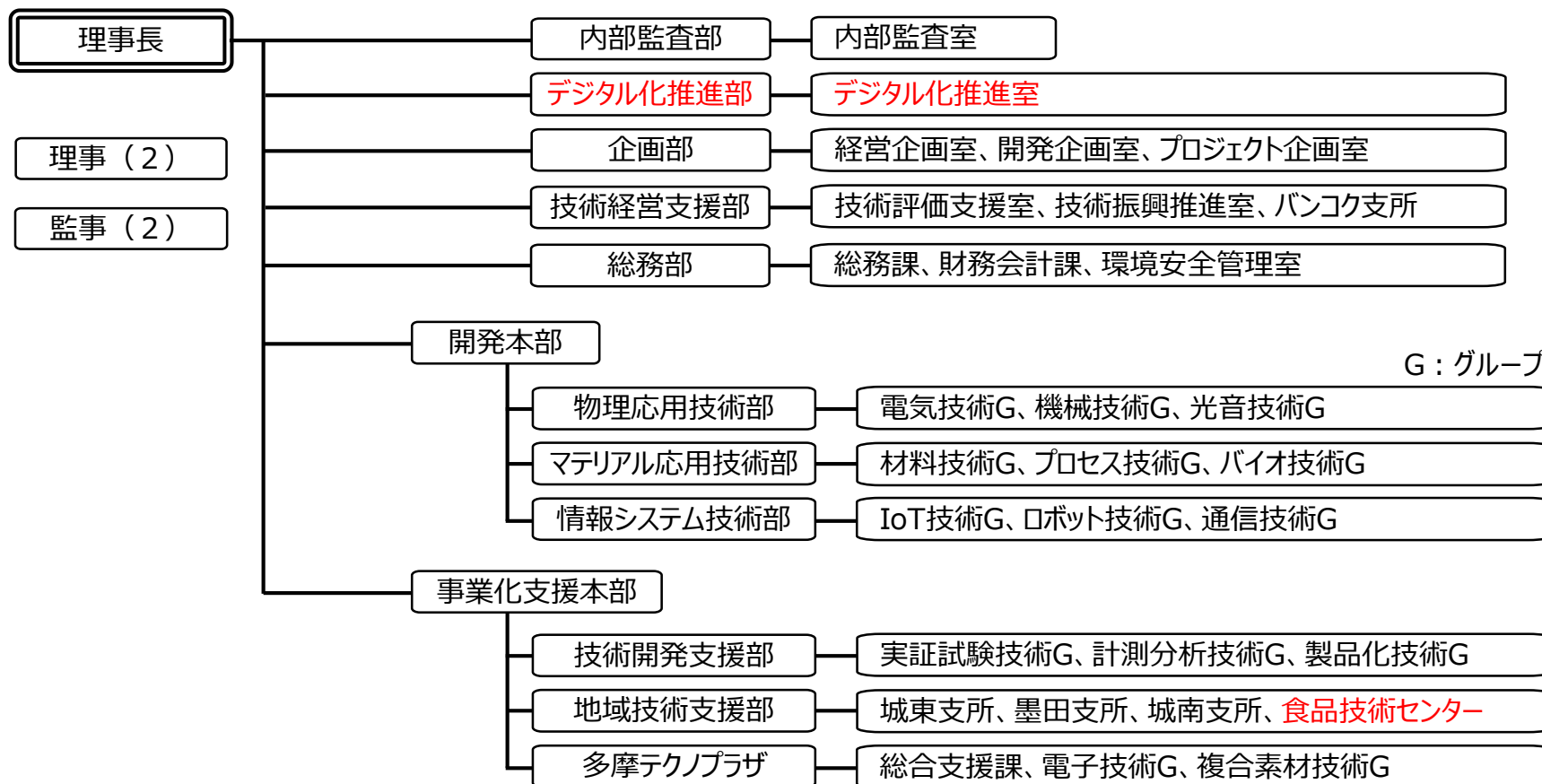
DX推進センターを拠点とし、5G・IoT・ロボット事業を推進

・食品技術センターの統合

円滑な統合、お互いの強みを生かした技術支援

2021年度組織

※ 赤字は2021年度完全新設部署



G : グループ

都産技研全体で約300名
(ワイドキャリアスタッフ (時間型) を除く職員数)

目次

1. 第四期中期計画概要

2. 2021年度計画

2.1 組織

2.2 総合的支援（OM型開発支援、研究事業）

2.3 プロジェクト型支援

2.4 新事業展開支援

2.5 地域や支所の支援

2.6 産業人材育成

2.7 情報発信

2.8 業務運営改善

新生活様式に対応した各種支援事業の継続

技術相談



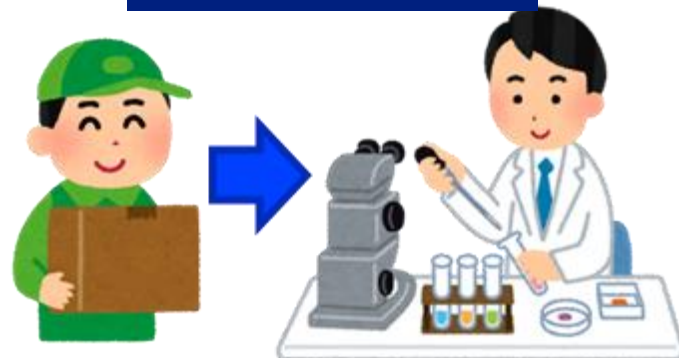
Web会議システムを本格活用開始

機器利用



三密回避、使用前後の消毒

依頼試験

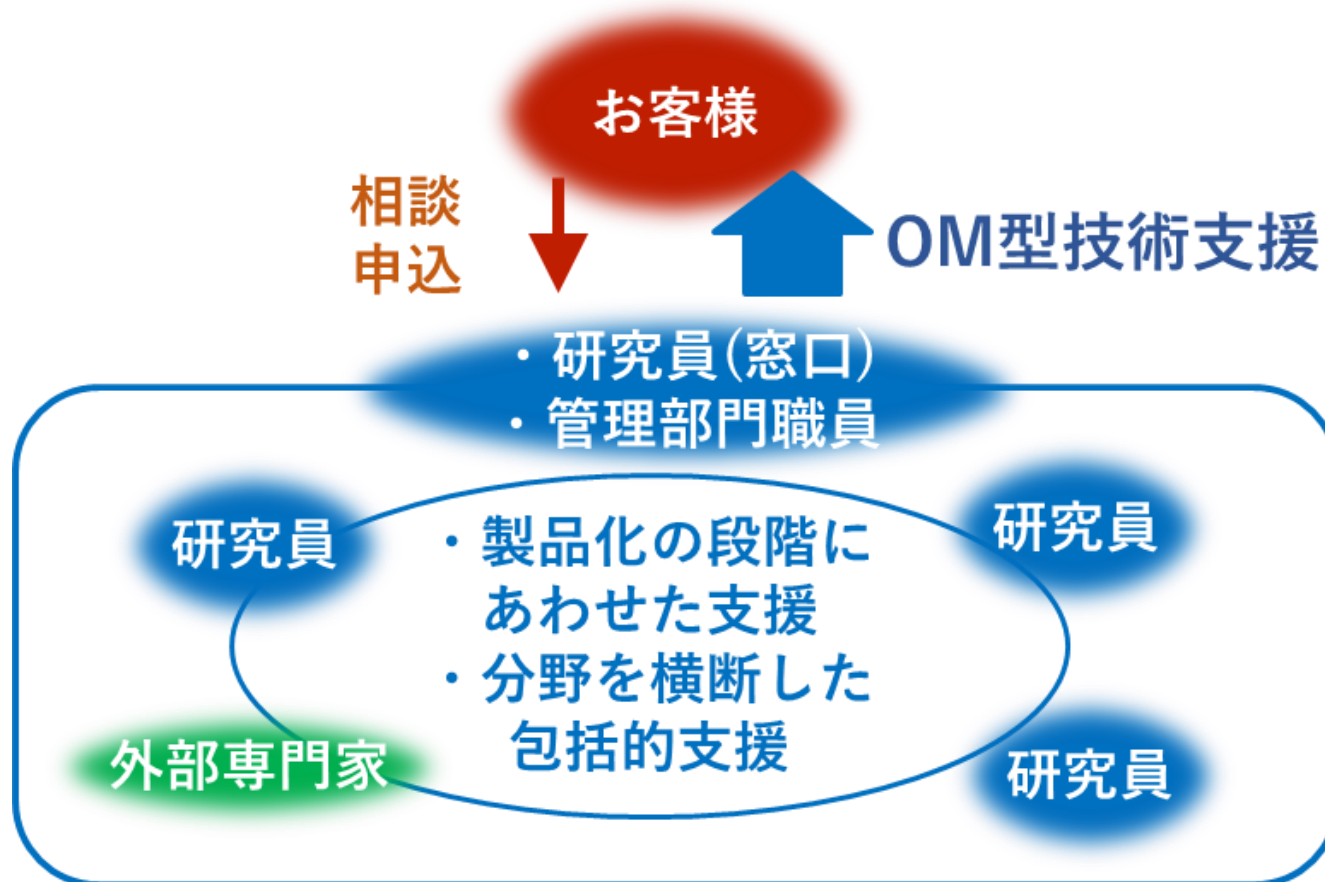


試験品の配送受け入れ、報告書の郵送

依頼試験、機器利用の合計利用件数 目標2021年度 24万件

オーダーメイド（OM）型技術支援の開始

開発前段階から製品化までを包括的に支援



製品化・事業化につなげた件数 目標2021年度 20件

新業務システムの運用と企業カルテの充実

新業務システム※の運用

- ✓ 手続き書類の電子化
- ✓ 関連データの一元化
- ✓ 支援履歴情報のDB化

※技術相談、依頼試験、機器利用、OM型技術支援等を管理するシステム

企業カルテの充実

- ✓ 部署間のシームレスな支援
- ✓ 類似相談への効率的対応
- ✓ 支援の進捗状況の確認
- ✓ 製品化への効果的支援の把握

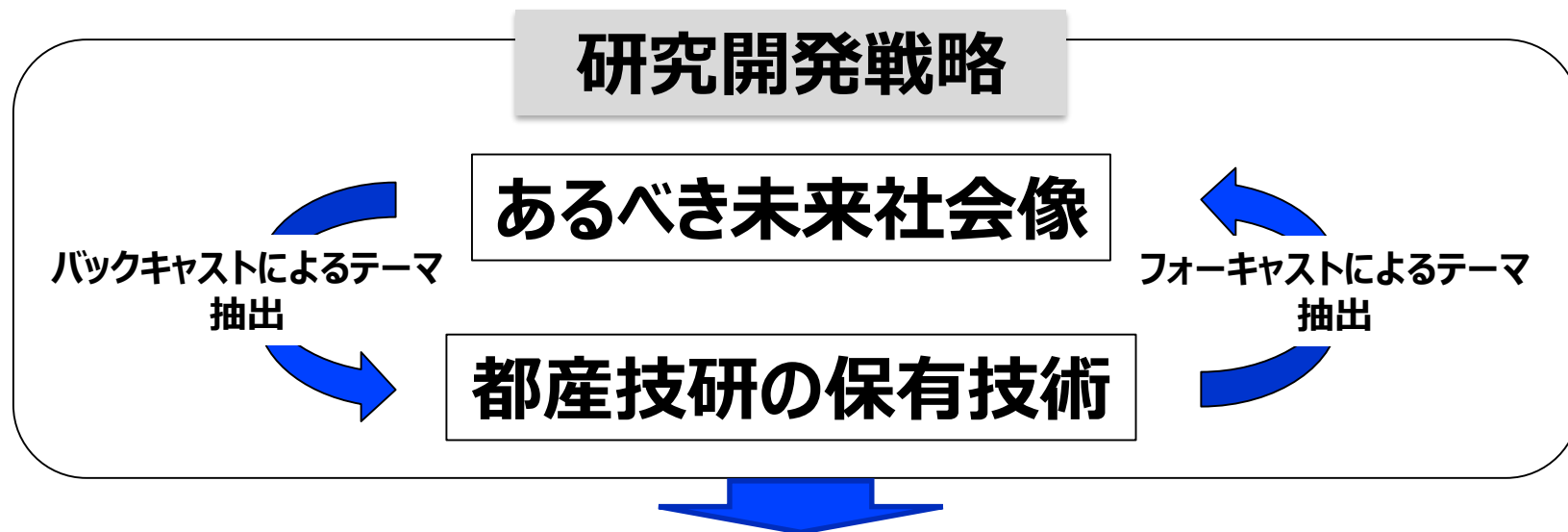


pixta.jp - 58133183

DX推進による技術支援のQOSの向上

QOS : Quality of Service

バックキャスト・フォーキャスト型の研究開発戦略



戦略に基づいた研究テーマの設定

あるべき未来社会像とその背景

DX化の推進

サステナブル社会

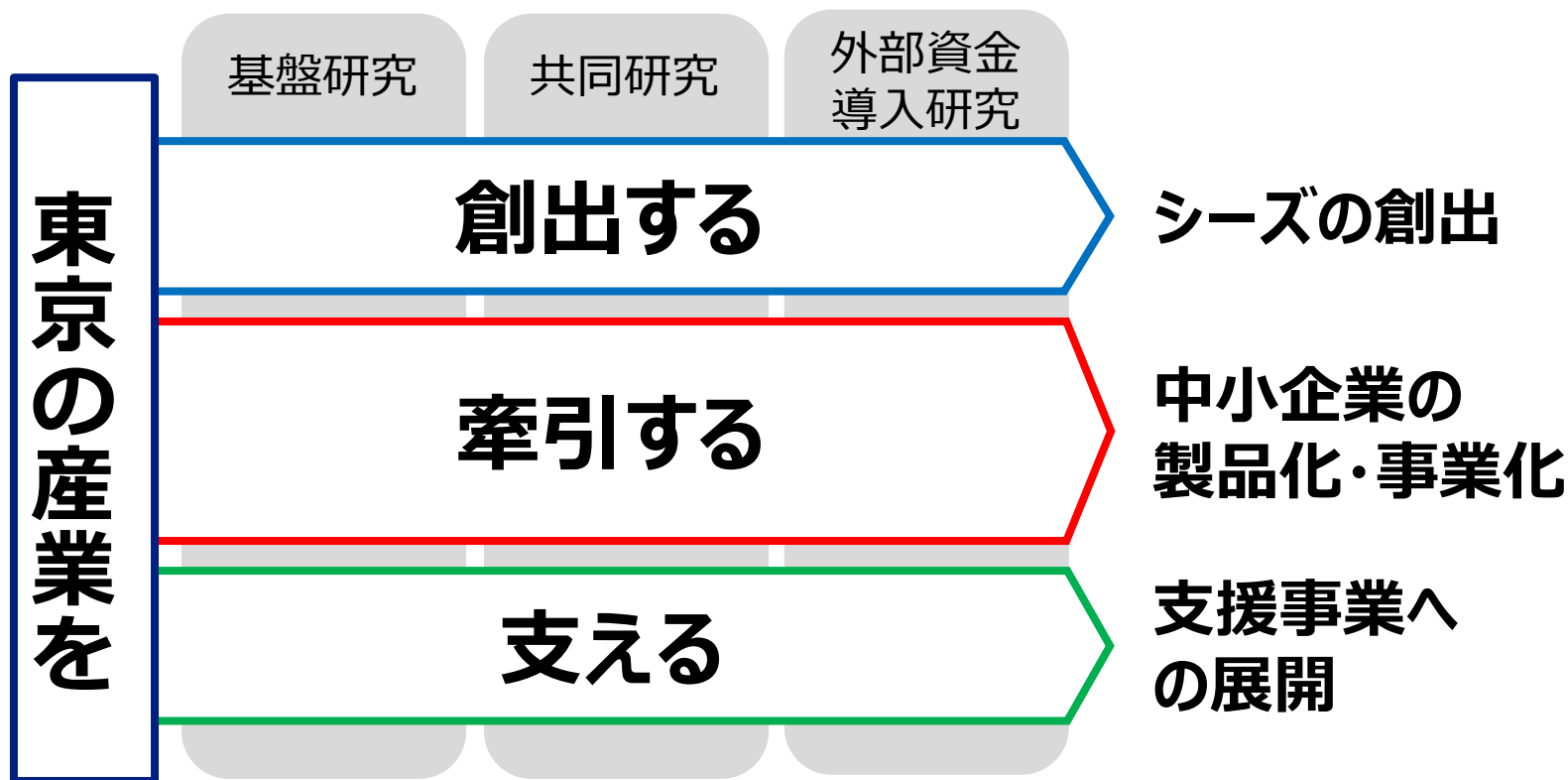
稼ぐ力の強化

QOLの向上



出口を意識した研究開発事業

各研究テーマに対して方向性を設定し
出口を意識づけ



基盤研究から下流に展開した件数 目標2021年度 27件

目次

1. 第四期中期計画概要

2. 2021年度計画

2.1 組織

2.2 総合的支援（OM型開発支援、研究事業）

2.3 プロジェクト型支援

2.4 新事業展開支援

2.5 地域や支所の支援

2.6 産業人材育成

2.7 情報発信

2.8 業務運営改善

新産業創出支援

**5Gなどの高速通信やIoT・AIをはじめ、
成長分野における新技術開発や製品化・事業化を支援**

2021年度実施事業（特定運営費交付金事業）

中小企業の5G・IoT・ロボット普及促進事業

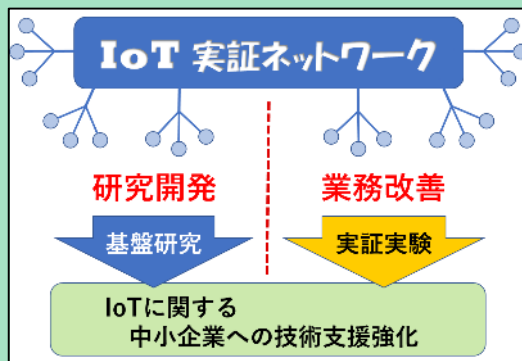
航空機産業への参入支援事業

ものづくりベンチャー育成事業

中小企業の5G・IoT・ロボット普及促進事業

DX推進センターを拠点とし、5Gを活用して 都産技研のIoT・ロボット技術を普及

5G



IoT



ロボット

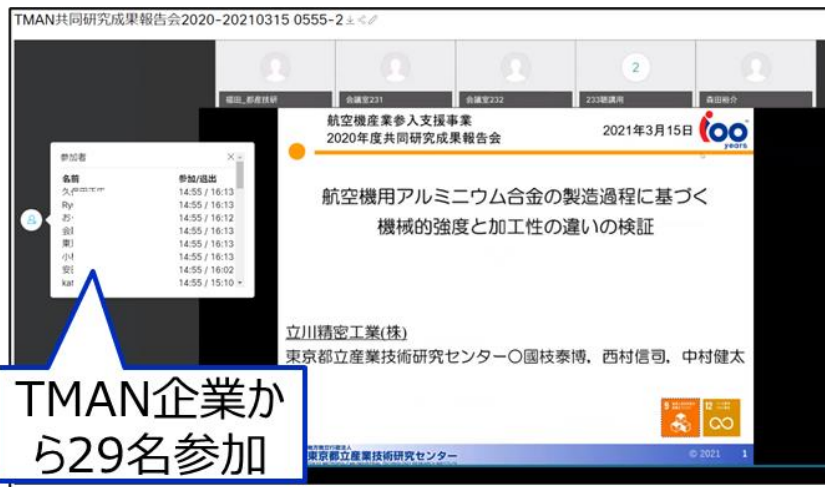
航空機産業への参入支援事業

TMAN企業との共同研究や人材育成セミナーを開催し、 中小企業の航空機産業への参入を支援

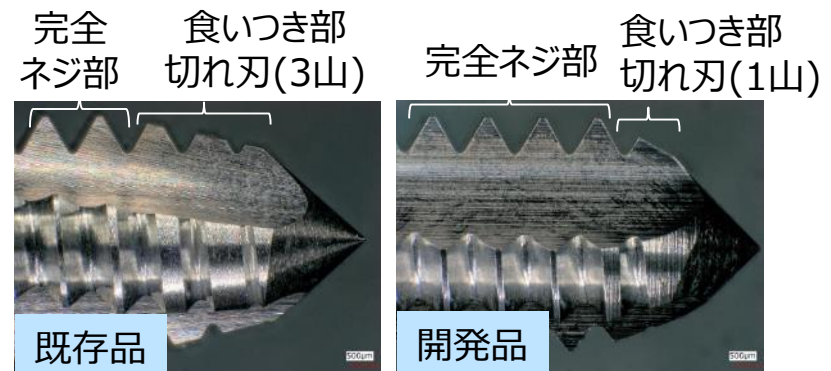
TMAN:Tokyo Metropolitan Aviation Network

- 共同研究の実施（2021年度予定：10件）
- 専門研究会の開催

TMAN事務局と連携し、受注獲得に向けた技術セミナーを開催予定



Web会議による共同研究成果報告会



2020年度研究事例
工具（タップ）の改良による生産性の向上
（航空機用難加工材の加工歩留まりを向上）

ものづくりベンチャー育成事業

公募で採択されたベンチャー企業(12社) の試作を支援

東京都

業務委託

受託運営企業

ベンチャー企業 (12社)

都産技研

- ・受託運営企業では対応の難しい内容をフォローアップ
- ・都産技研の通常支援メニューによるベンチャー企業の支援



社会的課題解決支援

**QOLの向上などの社会課題・都政課題に対応した
環境分野、ヘルスケア分野、食品分野等の技術開発や
製品化・事業化を支援**

※QOL : Quality of Life

2021年度実施事業（特定運営費交付金事業）

バイオ基盤技術を活用したヘルスケア産業支援事業

障害者スポーツ研究開発促進事業

プラスチック代替素材を活用した開発・普及プロジェクト

都政課題解決プロジェクト事業

バイオ基盤技術を活用したヘルスケア産業支援事業

バイオ技術を活用し、化粧品等 高付加価値製品の
開発を支援し、都内中小企業の参入を促進

依頼試験

機器利用

研究開発

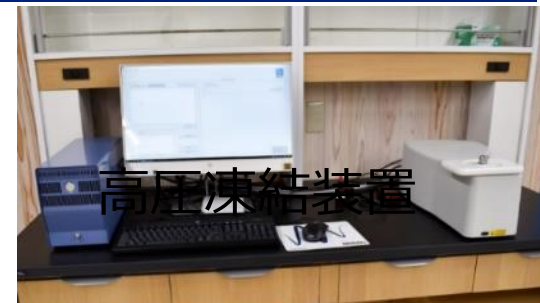
バイオ基盤技術を
活用した
ヘルスケア産業支援

人材育成

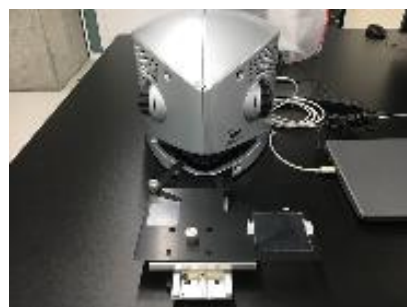
海外展開
支援



顔の皮膚画像解析装置



in vivo共焦点ラマン分光装置



SPF※アナライザー



クライオSEM (2021年度導入予定)

導入装置の例

SPF : Sun Protection Factor (紫外線防御効果)

2021年度中に設備導入を完了し、本格的な支援事業を開始

障害者スポーツ研究開発推進事業

アスリート向け障害者スポーツ用具を一般向け用具に展開
スポーツのすそ野を拡大し中小企業のビジネス参入を支援

●公募型共同研究（2020年12月から2022年度末まで）

【実施中のテーマ】

- 一般向け軽量Mgバドミントン用車いす開発
- アーチェリー弓具コンパウンドボウの開発
- スポーツ義足用高機能アダプター開発

●基盤研究

公募型共同研究の技術課題を解決するため、
都産技研において基盤研究(3件)を実施



部材にマグネシウムを採用し
軽量化した競技用車いす

プラスチック代替素材を活用した開発・普及プロジェクト

汎用プラスチックの代替素材を活用した製品開発を支援

● 公募型共同研究の実施 (2021年9月まで)

【実施中のテーマ】

- ・紙パウダーと生分解性プラスチックによる食品容器の開発
- ・天然素材の活用による地球にやさしい食器容器の商品化



開発中の試作品のイメージ

● 広報・普及

2021年度開発を完了し、普及に向けて
展示会出展・プロモーションビデオの発信を実施

プラスチックを用いない ストローレス給食用牛乳パックの試作提案

【都産技研】

製品デザインなど技術的なノウハウの提供

【東京都教育庁】

都立学校におけるプラスチックストローのあり方検討



- ・都立学校の生徒によるデザイン提案
- ・試作品の制作（都産技研）
- ・パッケージのモニター調査（都産技研）
- ・普及へ向けた業界への提案



2020年度調査した牛乳工場

目次

1. 第四期中期計画概要

2. 2021年度計画

2.1 組織

2.2 総合的支援（OM型開発支援、研究事業）

2.3 プロジェクト型支援

2.4 新事業展開支援

2.5 地域や支所の支援

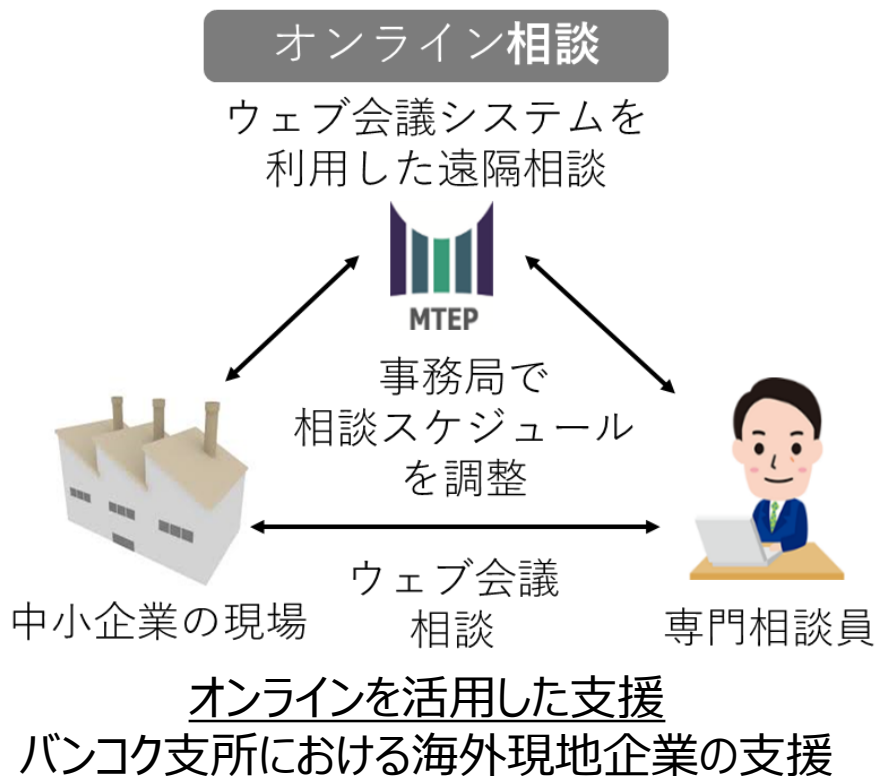
2.6 産業人材育成

2.7 情報発信

2.8 業務運営改善

海外展開支援

中小企業の海外展開についてきめ細かい支援を実施 オンラインによる海外中小企業への技術支援



海外規格解説デジタルテキストの充実

海外展開に寄与した件数 目標2021年度 24件

目次

1. 第四期中期計画概要

2. 2021年度計画

2.1 組織

2.2 総合的支援（OM型開発支援、研究事業）

2.3 プロジェクト型支援

2.4 新事業展開支援

2.5 地域や支所の支援

2.6 産業人材育成

2.7 情報発信

2.8 業務運営改善

支所における支援

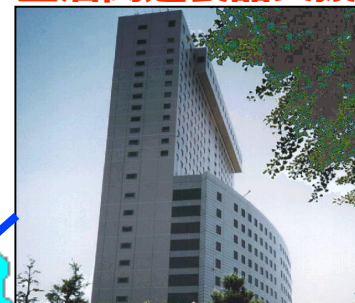
東京の各地域の産業特性を踏まえた技術支援 食品技術センターの統合

多摩テクノプラザ
EMC、複合素材



城東支所
デザイン、
ものづくり支援

墨田支所
生活関連製品支援



城南支所
精密加工技術



食品技術センター
食品技術



城南支所の機器整備（特定事業）と技術支援展開

難加工・微細加工技術の試作・開発・評価 精密加工支援体制の整備

- 機械・金属加工関連産業のDX推進
- 事業の付加価値向上や他分野参入を目指すセミナーの実施
- 大田区や品川区をはじめとする産学公金支援機関との連携強化

()の装置は2022年度以降導入予定

開発試作支援

難加工、微細加工への対応
導入予定機器
(フェムト秒レーザー加工機)

製品設計支援

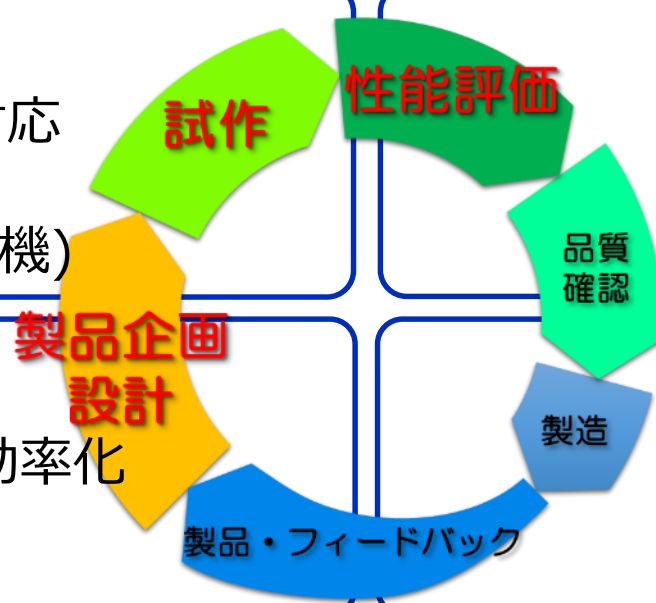
3Dプリンタ等による設計効率化
導入予定機器
FDM、3DCAD

性能評価支援

製品の三次元寸法計測
導入予定機器
(X線CT、レーザー顕微鏡)

品質確認 トラブル解析

開発品の性能証明など



食品技術センターの保有する食品技術と都産技研が持つ工業技術を活用し、総合的な技術支援を展開

食品技術センター(食品技術)

食の安全性確保技術、機能性評価
地域資源を活用した食品開発



都産技研(工業技術)

バイオ(化粧品開発)技術、
デザイン技術、IoT、AI活用 等

新製品・新技術開発



バイオテクノロジー活用
機能性食品開発支援

デザイン向上



魅力ある製品開発支援

生産性の向上



IoTやAI技術活用

目次

1. 第四期中期計画概要

2. 2021年度計画

2.1 組織

2.2 総合的支援（OM型開発支援、研究事業）

2.3 プロジェクト型支援

2.4 新事業展開支援

2.5 地域や支所の支援

2.6 産業人材育成

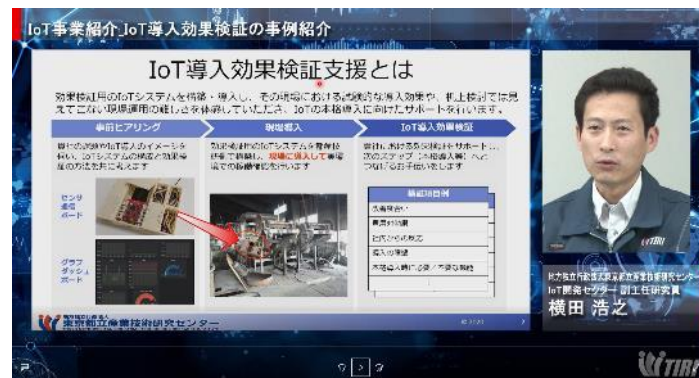
2.7 情報発信

2.8 業務運営改善

セミナー・講習会の実施による技術力の育成 研修生等受け入れによる次世代人材の育成

中小企業の中核を担う人材の育成

- ・利用者の利便性向上
→オンラインセミナーの充実
- ・質の向上に向けた取り組みを継続
→アンケート結果のフィードバック



技術セミナーの動画配信

次世代を担う人材の育成

- ・研修学生やインターンシップの受け入れ継続
- ・連携締結機関の大学などとの関係を密にし、研修生などの受け入れを強化

目次

1. 第四期中期計画概要

2. 2021年度計画

2.1 組織

2.2 総合的支援（OM型開発支援、研究事業）

2.3 プロジェクト型支援

2.4 新事業展開支援

2.5 地域や支所の支援

2.6 産業人材育成

2.7 情報発信

2.8 業務運営改善

情報発信の推進

効果的かつ効率的な認知度向上のため デジタル技術を活用した情報発信を推進

研究成果の普及と事業のPR

・オンラインによる研究成果発表会の開催

迅速かつ訴求力のある情報提供

- ・広報誌等刊行物のデジタル化
- ・動画共有サイト、SNSの積極的活用
- ・メディアに向けたプレス発表の充実

広報活動の効果計測・検証



技術情報誌「TIRI NEWS」の充実
紙媒体からウェブへ転換



墨田支所バーチャル見学会



動画共有サイトにおけるPR

目次

1. 第四期中期計画概要

2. 2021年度計画

2.1 組織

2.2 総合的支援（OM型開発支援、研究事業）

2.3 プロジェクト型支援

2.4 新事業展開支援

2.5 地域や支所の支援

2.6 産業人材育成

2.7 情報発信

2.8 業務運営改善

デジタルトランスフォーメーションを推進する体制の構築

業務の効率化

- ペーパーレス会議の推進
- テレワーク環境の整備
- 職員確保育成へのデジタルコンテンツ活用

サービス向上

- ウェブ会議システムによる技術相談
- デジタル技術を活用した情報発信
- 料金のキャッシュレス利用促進
- オンラインセミナーによる産業人材育成

会議等のペーパーレスによる開催率 目標2021年度 55%

業務運営改善

◆デジタルトランスフォーメーションの推進

“5つのレス”の推進

(ペーパーレス、FAXレス、はんこレス、キャッシュレス、タッチレス)

◆ライフ・ワーク・バランスの推進

年休取得の徹底、男性職員の育休取得推奨、テレワークの充実

◆SDGsへの幅広い取組への対応

省エネルギー対策の推進、CO₂削減等、環境負荷の低減

◆内部統制及びコンプライアンスの推進

内部監査、業務点検の実施、研究活動における不正行為の防止

地方独立行政法人
東京都立産業技術研究センターを
今後ともご指導賜りますよう
よろしくお願いいたします